

平成14年度 公共事業再評価調書（担い手育成基盤整備事業）

（事業着手後 5年以上経過し継続中の事業）

評価確定日	平成14年11月27日
所管部課名	農林水産部 農地整備課

地区名	事業の概要	1 必要性の観点			2 事業進捗の見込みの観点																													
		事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	事業の投資効果																														
<p>[地区名]</p> <p>すなこさわ 砂子沢</p> <p>[所在地]</p> <p>鹿角郡 小坂町</p>	<p>[事業の目的]</p> <p>土地利用型農業の確立を図るため、担い手農家等による大規模な農業経営が行われる見込みのある地域で大区画の高生産性ほ場整備を実施し、生産性の向上と生産コストの低減を図るとともに、連担的農地の集積を促進し、望ましい担い手の育成・確保を図る。</p> <p>[総合計画上の位置付け]</p> <p>「あきた21総合計画」では、国際化の急激な進展に対応しうる生産性の高い農業とこれを支える活力ある農村を確立するため生産基盤であるほ場の整備をH12～22の11年間に14,500ha整備率76%を目標に整備する。 特に、計画前期のH12～14の3年間に4,500haを整備する。</p>	<p>[事業の経緯]</p> <p>H9 事業採択 H10 工事着手 H13 面工事完了 (H16 換地処分、完了予定)</p> <p>[進捗状況]</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>全体</th> <th>H14まで</th> <th>進捗率</th> </tr> <tr> <td>区画整理</td> <td>37.6ha</td> <td>37.6ha</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>708</td> <td>634</td> <td>89.5%</td> </tr> </table> <p>[長期継続の理由]</p> <p>沢部特有の湧水を処理するため期間を要している。</p>	区分	全体	H14まで	進捗率	区画整理	37.6ha	37.6ha	100%	事業費	708	634	89.5%	<p>[社会経済情勢の変化]</p> <p>農産物の輸入自由化や米価の下落により、農家の経営が厳しさを増していることから生産コストの低減が強く求められている。 このため、本事業により農地の基盤を早急に整備し、担い手等に農地の集積を図るとともに、労働時間の短縮や営農経費の節減により、生産性の高い営農を進めることが急務である。</p> <p>[地元の意向]</p> <p>小坂町では、一般家庭から排出される生ゴミの分別収集を進め家畜排出物との混合によるクリーンで環境に優しい循環型農業の展開を実施しており、尿尿処理施設「(有)クリーンセンター」でBMW(バクテリア・ミセル・ウォーター)システムによる良質堆肥や生物活性水を生産し、農家に提供している。本地区の農家ではこれら堆肥の活用に取り組み、減農薬・減化学肥料で安全な農作物栽培(通称BM農法)の定着を進めており、事業の早期完成を強く望んでいる。</p> <p>[環境対策]</p> <p>「農業農村整備環境対策指針」に基づき保全すべき環境を確認の上事業推進している。 本地区では、環境関連法令に係わる事項は特になし。</p>	<p>[整備効果]</p> <p>ほ場整備事業を契機に、地区内3名の担い手農家への受委託及び賃借権の設定による農地集積が進み、基幹作業の省力化などが図られると期待されているほか、乾田化の図られたほ場を活用したBM農法に取り組むなど、営農に対する意識改革の兆しが芽生えてきている。</p> <p>担い手経営面積 担い手農家 3戸</p> <table border="1"> <tr> <th>地区面積</th> <th>担い手経営</th> <th>シェア</th> </tr> <tr> <td>37.6ha</td> <td>5.6ha</td> <td>14.9%</td> </tr> </table> <p>[費用の変化]</p> <p>事業費に変更はない</p> <p>[効果の変化]</p> <p>事業効果に変更はない</p> <p>[費用対効果]</p> <table border="1"> <tr> <td>計画時</td> <td>1.09</td> </tr> <tr> <td>再評価時</td> <td>1.09</td> </tr> <tr> <td>採択基準</td> <td>1.00</td> </tr> </table>	地区面積	担い手経営	シェア	37.6ha	5.6ha	14.9%	計画時	1.09	再評価時	1.09	採択基準	1.00	<p>3 コスト縮減や代替案立案等の可能性の観点</p> <p>[コスト縮減の可能性]</p> <p>工事の際に現場内で発生した岩塊や老朽化したコンクリートフリーフォームを破砕し、農道の敷砂利や構造物の基礎砕石に再利用するなどコスト縮減に努め事業の進捗を図っている。</p> <p>[代替案立案の可能性]</p> <p>なし。</p>					
区分	全体	H14まで	進捗率																															
区画整理	37.6ha	37.6ha	100%																															
事業費	708	634	89.5%																															
地区面積	担い手経営	シェア																																
37.6ha	5.6ha	14.9%																																
計画時	1.09																																	
再評価時	1.09																																	
採択基準	1.00																																	
<p>[事業内容]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>諸元</th> <th>計画時</th> <th>再評価時</th> <th>増減</th> <th>理由等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業量</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>区画整理</td> <td>37.6 ha</td> <td>37.6 ha</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費(百万円)</td> <td>708</td> <td>708</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td>H9～H13</td> <td>H9～H16</td> <td>3年</td> <td>湧水の処理に工期を要する。</td> </tr> <tr> <td>受益面積</td> <td>37.6 ha</td> <td>37.6 ha</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		諸元	計画時	再評価時	増減	理由等	事業量					区画整理	37.6 ha	37.6 ha	0		事業費(百万円)	708	708	0		工期	H9～H13	H9～H16	3年	湧水の処理に工期を要する。	受益面積	37.6 ha	37.6 ha	0				
諸元	計画時	再評価時	増減	理由等																														
事業量																																		
区画整理	37.6 ha	37.6 ha	0																															
事業費(百万円)	708	708	0																															
工期	H9～H13	H9～H16	3年	湧水の処理に工期を要する。																														
受益面積	37.6 ha	37.6 ha	0																															
再評価の結果		対応方針(案)及びその理由		公共事業評価専門委員会の意見																														
<p>継続・中止</p>		<p>[対応方針(案)]</p> <p>平成16年度に換地処分を実施し、完了を図る。</p> <p>[理由]</p> <p>平成13年度までに面工事を終え、既に新たなほ場で作付が行われている。 また、今年度から暗渠排水や地元要望に応えるための補完工事を実施することとしており、事業を推進する上で支障もなく、平成16年度に換地処分を実施し完了することが可能である。</p>		<p>継続は妥当と認める。</p>																														